

ひまわり



令和2年7月7日(火)

七夕



九州地方には特別警報が出され、河川の氾濫や土砂くずれで甚大な被害が出ています。お亡くなりになられた方のご冥福をお祈りするとともに、被災地の一刻も早い回復を願います。

本日は七夕。21時30分頃に夜空を見上げると、南にさそり座のアンタレス（さそりの赤い目と呼ばれる星）、南東の低い位置には土星と木星が明るく輝いています。東に目をやると、七夕の主人公である彦星と織姫星。彦星はわし座のアルタイル、織姫星はこと座のベガです。小学校では、はくちょう座のデネブと合わせて、夏の大三角として学習しています。

ところで、七夕伝説は、奈良時代に中国から伝わりました。天帝(天の神様)の娘の織姫は、牛飼いの青年と結婚しました。ところが、その後、織姫は大切な機織り（はたおり）の仕事をきちんとしなくなってしまうのです。このことが、天帝の怒りに触れ、二人は天の川をはさんで兩岸に引き離されてしまいます。しかし、一年に一度だけ会うことを許されるのです。その日が7月7日なのです。

七夕は日本に入ってきた当初、貴族の星祭りであったと言われています。優雅で煌（きら）びやかなものであったに違いありません。時は流れ江戸時代になり、七夕は、習い事などの上達を願う庶民の文化として広がっていきます。

「お習字が上手になりますように」「三味線がうまくなりますように」など、思い思いの願いを短冊にしたため、笹につるし天に向かい掲げたのでした。

先日、買い物で入ったスーパーマーケットで、近くの幼稚園の園児さんが書いた短冊が笹に結ばれていました。

「おじいちゃんおばあちゃんげんきでね」 優しい気持ちが伝わりました。

「たくくんとけっこんしたいです」 たくくんてどんな子やろ。

「たいむましんつくる」 言い切った！こりゃ本気や！

さて、皆さんの願い事はどのようなものでしょうか。願い事は目標とも言えます。今日は、夏の夜空を見上げながら、それぞれの願いが叶うように、努力することを誓ってみてはどうでしょうか。お天気が心配ですが……

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。

